



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年文月1日
第7号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「制限された中での積み重ねの日々! もてる力を精いっぱい!」

～ 中体連筑後地区陸上競技大会 ～



【結果】

種目	選手名	結果
1年100M		6位
3年800M		6位
共通走幅跳		4位
共通走高跳		4位

6月14日(月),「筑後地区陸上競技大会」が久留米市陸上競技場で開催されました。炎天下の中,本校から22名の子どもたちが出場しました。みな自己ベストをめざして精いっぱい力を発揮してくれました。結果,4名の子どもたちが上位入賞を果たし,福岡県大会への切符を手に入れました。例年とは異なるさまざまな制限がある中で力を尽くした子どもたちの健闘をたたえます。

～ 中体連ブロック水泳競技大会 ～

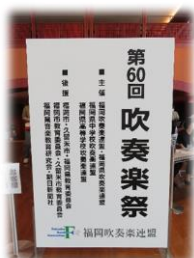


6月19日(土),「ブロック水泳競技大会」がうきはアリーナプールで開催されました。本校からは,1年生の **さん**が**200Mと100Mの背泳ぎ**に出場し,それぞれ**1位と4位**という結果を残してくれました。

水泳も競技上大きな制限を余儀なくされました。その中で**自らのやるべきことを見失うことなく日々の努力を重ねてきた**姿に感動を覚えます。

本校からは1名のエントリーでしたので, **さん**はたった一人で大原中学校の代表として大会に臨んでくれたこととなります。 **さん**の健闘に心から拍手を送りたいと思います。

～ 福岡吹奏楽連盟 第60回 吹奏楽祭 ～



6月20日(日),福岡吹奏楽連盟主催「**第60回 吹奏楽祭**」が久留米シティプラザ大ホールで開催され,本校吹奏楽部が出演しました。

例年であれば,さまざまなコンクールや演奏会が行われて経験を積むのですが,昨年度からほとんどの場が中止となり,子どもたちはさぞ悔しい思いをしたと思います。

しかし,子どもたちは,決してうつむきませんでした。毎日の練習で奏でられる音楽は,校長室にもよくきこえてきます。少しずつ少しずつ日々上達しているのわかるような気がしました。

制限されながらも,これまで**積み重ねてきた練習の日々**と「**伝えたい**」という**あふれる思い**をこめての演奏は,聴いている私たちの心に響くとともに,子どもたちの**確かな成長**を感じることができました。



さあやるぞ あふれる思いを 胸に秘め
積み重ねた日々 力を尽くす 晴一

～ 中体連ブロック夏季総合体育大会 予定 ～

昨年度、中止を余儀なくされた「中体連ブロック総合体育大会」が、本年度は開催することとなりました。感染予防のため、朝練習や対外試合もほとんどないままむかえる大会となりますが、「**できることに感謝**」しながら、子どもたちの活躍を見守りたいと思います。それぞれの大きめの試合日程は表の通りです。さまざまな点で制限されるとは思いますが、ご理解いただき子どもたちの奮闘ぶりを支えていただきませうようしくお願いいたします。詳細につきましては、各部の顧問にお尋ねください。

部活動名	期 日	会 場	時 間	対戦相手
野 球	7月3日(土)	小郡市野球場	①10:30 ②12:45	①三国中 ②立石中
	7月4日(日)		未 定	準決勝 決勝
ソフトボール	7月3日(土)	うきはスポーツ アイランド	①9:00 ②10:50	①浮羽中 ②大刀洗中
	7月4日(日)		未 定	3位決定 決勝
バレー男子	7月3日(土)	浮羽中	13:30	三国中
バレー女子	7月3日(土)	浮羽中	①9:00 ②12:30	①小郡中 ②大刀洗中
	7月4日(日)	未 定	未 定	一日目の結果による
バスケ男子	7月3日(土)	大原中	①10:25 ②13:15	小郡中 立石中
	7月4日(日)		未 定	一日目の結果による
バスケ女子	7月3日(土)	大原中	①11:50 ②14:40	浮羽中 吉井中
	7月4日(日)		未 定	一日目の結果による
ソフトテニス 男女	7月3日(土)	小郡市	8:40～ 開始	団体戦
	7月4日(日)	テニスコート	8:40～ 開始	個人戦
卓球男子	7月3日(土)	小郡市体育館	①8:30 ②11:30	①個人戦 ②団体戦
卓球女子	7月4日(日)	小郡市体育館	①8:30 ②11:30	①個人戦 ②団体戦
サッカー	7月3日(土)	船越グラウンド	①10:15 ②12:45	①小郡中・宝城中 ②浮羽中
	7月4日(日)	小郡市陸上競技場	未 定	準決勝 決勝
剣 道	7月3日(土)	三国中	①9:15 ②12:30	①男子団体・個人 ②女子団体・個人

「タブレットを持ち帰ってみました」 オンライン体験学習実施

6月17日(木)、午後、子どもたちがタブレットを持ち帰っての「**オンライン体験学習**」を行いました。

まず、各教室にいる先生方と自宅にいる子どもたちできちんとつながるのを確認した後に、タブレット上の画面越しに学級ごとにみんなで「しりとり」を行いました。

事後のアンケートでは、**96%の子どもたちが「よくできた」「まあできた**」と回答しており、子ども自身のICT活用に関する技能の面については一歩前進できたと感じております。

まだまだ、環境の面やモラルの面等で課題や心配な点はたくさんありますが、**目的や活用場面を明らかにして**、みんなで知恵を出し合いながら進めていきたいと思っております。



小さいけれど大きな感動 その7 「見えないところで… 感謝！」

6月に入ってから気づいたのですが、昼休みに生徒会室をのぞくと、ほぼ毎日、執行部の子どもたちが話し合いを行っています。

一つの行事に対して、先生から言われてそのまま行うのではなく、現在の状況の中で「**みんなのために何ができるのか**」「**どうすればみんなのためになるのか**」等、考えを出し合いながら進めています。考えを一つ出すと、そこから広がって、なかなか簡単に結論が出せなくなり、「明日も集まろう」となっているようです。

その姿をみたとき、私はなんとも言えない感謝の気持ちにつつまれました。「**自分の時間を削って、みんなのために知恵を出し合いながら考えぬいて大原中学校の活動を一歩ずつ進めてくれている人たちがいる**」、「**みんなを繋ごうと奮闘している人たちがいる**」ことを知ったとき、思わず心の底から「**ありがとう**」とつぶやいていました。

